

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	美原こども館管理、美原こども館健全育成				事業番号	038-078	
担当部署名	教育委員会事務局	局	地域教育支援部	部	美原こども館	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
			有	取組の方向性	③健やかな心身の育成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期末未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市立美原こども館条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	出先機関					
6	事業の対象	こども（小学校に就学する児童及び小学校就学前のこどものこと。以下同じ。）及びその保護者				対象数	単位
7	事業の目的	こどもの体力増進及び情操のかん養を図り、その健全な育成に資すること。					
8	事業内容	こどもに対して健全なあそびの場所を提供する。 ・美原区内に4館を設置（各館には基本、再任用職員1名、会計年度任用職員2名を配置） ・児童文化教室（硬筆、毛筆、茶道）や各種行事（あそびの会、世代間交流事業、ちびっこデイ等）を実施 ・地域の子育てサークルやクラブ（おとな）の活動場所として貸館を実施（こどもの活動に支障のない範囲）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	施設修繕工事業者					
10	公民連携・協働事業	各校区福祉委員会との協働事業として毎年度、各館ごとに3種類の世代間交流事業（夏のつどい等）を実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	利用者数	人	目標値	27,000	28,000	31,500	32,000
			実績値	27,728	31,163		
			達成率	103%	111%		
	当該指標を選定した理由	利用者数がこども館の事業成果や実績全体を可視化できるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各種事業参加者の総計					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	文化教室の開催数	回	目標値	173	173	173	
			実績値	173	173		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	こども館の主たる事業のひとつであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各館の児童文化教室（硬筆、毛筆、茶道）の開催数の総計					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	美原こども館管理、美原こども館健全育成	事業番号	038-078
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	36,067	41,541	52,400	56,756	53,087
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	7,600	6,500	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	36,067	41,541	44,800	50,256	53,087
14	人件費（b）	3,600	3,800	3,800	3,800	3,900
15	年間経費（c）=(a)+(b)	39,667	45,341	56,200	60,556	56,987

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	会計年度任用職員報酬	R8	予算	28,376	28,376	施設機械警備業務委託料	R8	予算	469	469
		R7	決算	27,121	27,121		R7	決算	469	469
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R8	予算	9,623	9,623	ひらお周辺水路清掃業務委託料	R8	予算	1,210	1,210
		R7	決算	8,799	8,799		R7	決算	990	990
	費用弁償（通勤費）	R8	予算	2,028	2,028	工事請負費	R8	予算	2,000	2,000
		R7	決算	555	555		R7	決算	10,310	3,810
	講師謝礼金	R8	予算	1,560	1,560	施設修繕料	R8	予算	400	400
		R7	決算	1,560	1,560		R7	決算	198	198
	施設清掃業務委託料	R8	予算	1,748	1,748	その他	R8	予算	5,006	5,006
		R7	決算	1,748	1,748		R7	決算	5,673	5,673
		R8	予算	1,748	1,748		R8	予算	5,673	5,673
		R7	決算	1,748	1,748		R7	決算	5,673	5,673

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
			27,728	31,163
17	① 利用者	人	27,728	31,163
	② 上記①にかかる年間経費	千円	45,341	60,556
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	1,635	1,943
算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	こども館の事業実施に際する創意工夫や広報活動の充実などにより、利用者数が増加傾向にある。 また、令和7年度は事業費増となっているが、その大きな要因はLED照明工事の実施によるもので、一時的なものである。 こうしたことから、「単位当たり経費」は実質的には減であり、事業の効率性の向上により、費用対効果が発揮されている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	美原こども館でのこどもへのあそびの場の提供や文化教室、世代間交流事業など様々な事業の実施を通じて、こどもの体力増進や情操のかん養を図り、その健全な育成に資するというこども館の設置目的の達成に寄与している。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和2年度にコロナによる利用者の大幅な減少を記録したが、令和3年度以降は増加に転じ、現在ではコロナ禍前の水準までに戻っており、こどもたちにとって、学校・家庭以外の居場所、あそび場として必要な拠点になっている。 また、児童文化教室や各種行事は、こどもたちにとって、学校や家庭では得られない学びや経験の場として貴重な機会となっている。
	有効性	■ 高い □ 低い	